



REAL

人よ、街よ、社会よ、もっとココロオドレ

REAL-1 建築



現場では
とにかく動き回ることこそが
成長の第一歩だ

比企 七海 建築本部工事部／2024年入社

Career Step

2024年 入社、建築本部工事部工事課 配属

【主な担当現場】
上毛新聞古市町再開発工事

一級建築士取得に向けて勉強中

目の前の仕事を完璧にこなすことを自らに課し
施工管理のプロとしての飛躍を誓う。

「多くの人に活用される建物の建設に携わりたい」と思っていた学生時代。比企が初めて配属された現場は、オフィス棟とマンション棟からなる多目的複合施設の大規模プロジェクトだった。100人以上の協力業者に指示を出し、安全かつ工期通りに完成させることが施工管理のミッション。協力業者との打ち合わせでは、曖昧なことは言わない。分からないときは自ら調べるか、先輩たちから教えてもらった上で指示を出す。建設現場で、曖昧な言葉は時にトラブルの原因になるからだ。一度学んだことは、実践的な知識として頭にたたき込む。1日ごとに建物が着実に完成に近づいていく姿を目の当たりにすることが、仕事の醍醐味となっている。

Works

施工管理は、設計を基に建築物を安全かつ工期内に完成させる仕事。入社から日が浅い比企は現場監督の見習いとして、先輩たちの指導の下、現場巡回や工事写真の撮影、現場での安全管理と工程管理、書類作成など広範囲の業務を担当。専門分野の職人たちとの信頼関係の構築は、工事を安全かつスケジュール通りに進行させるために現場監督にとって重要な能力の一つとなる。

REAL-2 建築



施工管理の道に

終着点はない

常に学びの日々だ

新井 尚幸 建築本部工事事務部／2016年入社

Career Step

2016年 ● 入社、建築本部工事事務部 配属

【主な担当現場】

都立板橋高校改築工事、赤羽消防署新築工事、ふじみ野市文化施設改修工事、ふじみ野市さぎの森小学校改修工事、池袋3丁目マンション工事、安中市新庁舎建設工事

2018年 ● 2級建築施工管理技士 取得

2020年 ● 1級建築施工管理技士 取得

2024年 ● 安中市新庁舎建設工事 監理技術者

ミスを未然に防ぐのが当然の仕事。
謙虚さとプロとしての誇りを胸に現場に立つ。

どんな工事であっても、初めて経験する工法や状況に直面することがある。現場監督の仕事は、常にチームプレーで一つの建築物を完成に導く。そのためには、プロとして常に謙虚な姿勢を貫き、どん欲に知識を吸収して実力を磨くことに徹する。時に対処しなければならないトラブルもまた貴重な経験になる。現場監督として心掛けているのは、ミスを未然に防ぐこと。作業の途中経過で違和感に気付ければ、工程やコストに影響が少ない。「観察力を研ぎ澄まし、いかにミスを未然に防ぐか」これが現場監督としての新井の誇りだ。

Works

施工管理は、建築工事の安全・工程・品質・原価管理を担う業務。仕事内容としては、工事現場での作業管理が中心となるが、施工計画・工程計画などの書類作成も行う。数多くの協力業者たちの工程を調整し指示を出す、現場監督はいわば「交通整理係」のような仕事。入社10年目の現在は、現場における技術面の責任者である監理技術者として日々の業務に向き合っている。

REAL-3 土木



受け身の新人から

入社3年目

能動的なプロへと変貌を遂げる

小笠原 舞美 土木本部工事事務課／2022年入社

Career Step

- 2022年 ● 入社、土木本部工事事務課 配属
【主な担当現場】
神戸高速のり面補強工事、大和川宅地整備工事
- 2023年 ● 2級土木施工管理技士 取得

事前の準備や報連相を怠らない。

コミュニケーション力を鍛えて一人前の現場監督を目指す。

新人時代に初めて配属された現場で、確認作業を曖昧にしたために、施工後にやり直しという痛い失敗を経験した小笠原。この経験を教訓とし、「作業員との積極的なコミュニケーション」「先輩に頼るべきところは頼る」「確実な“報連相”」などを自らに課した。受け身だった1、2年目から、3年目となり作業員に指示することも増えた。徐々に頼りにされる場面も多くなり、成長を実感している。ミスのない仕事を積み重ね、自分で現場を仕切ることができる存在となることが小笠原の目標だ。

Works

土木現場では写真整理や出来形管理、安全管理などの業務を中心に実施している。小笠原が担当する大和川宅地整備工事では、約40人の作業員を指示し、施工管理を行っている。工事の基本となる測量、写真撮影、作業工程の作成、作業準備などが主な仕事。作業員との信頼関係を築くためには、経験と知識が必要だ。また、初めて経験する工事に直面することも多く、事前準備も重要となる。

REAL-4 土木



年齢に関係なく

蓄えた力を土木現場で

発揮できることがやりがい

小林 翔 土木本部工事事務課 / 2020年入社

Career Step

2020年 ● 入社、土木本部工事事務課 配属

【主な担当現場】
大柏木トンネル工事、R1柗ヶ舞アンカー工事、ジョイフル本田吉岡店造成工事、R17永井地区舗装工事、石畑給水所耐震補強工事

2022年 ● 2級土木施工管理技士 取得

2025年 ● 1級土木施工管理技士 取得

佐田建設だからこそ光る一人一人の存在感。
現場でリーダーシップを発揮し、ともに完成に導く喜び。

小林は就活時、地元企業にフォーカスし、群馬県で実績を多く残している佐田建設を志望した。「同期が何百人もいるような大手企業ではなく、一人一人の存在がより重要となる当社を志した」という小林。その言葉通り、入社3年目で経験した現場では、現場監督は自分と所長の2人だけ。多くの仕事を任せられたことで大きく成長できたことを実感した。小林にとってターニングポイントとなる現場となった。小林が心掛けていることは、「常に学ぶ姿勢を忘れない」「次にどうすべきかを考え積極的に動く」「パートナーである作業員との信頼関係を築く」の3点。2025年1月には1級土木施工管理技士の資格を取得。「1級に恥じない仕事をやりたい」と前を向く。

Works

土木工事の現場監督として、工程管理、測量、材料や重機等の発注、安全管理などを担当しているが、所長になると、これに加えて全体の予算管理も行う。当初は工種が同じのものであっても、業者により施工方法が異なることがあり、戸惑いを感じた小林。現在では、多様な施工方法があるという認識の下、業者との信頼関係を築くことが現場監督に求められると、考えている。

REAL-5 営業



あらゆるチャンスを

駆使して情報収集

これが工事受注に結実する

石井 達也 営業本部本店営業部／2015年入社

Career Step

- 2015年 ● 入社、営業本部本店営業部第二営業課 配属
- 2016年 ● 本店営業部第一営業課 配属
- 2017年 ● 2級建設業経理士 取得
- 2018年 ● 本店東毛営業所 配属
- 2022年 ● 宅地建物取引士 取得
- 2023年 ● 本店営業部第一営業課 配属

全ての工事は営業活動から始まる。

あらゆるチャンネルで情報を集め、社員の協力を得て受注を目指す。

施工部門は建設会社の要だが、営業部門が仕事を受注しなければ何も始まらない。そう石井は静かに語る。建設業界全体として、30代後半から40代の社員が少ないため、入社10年目を迎える石井には、「兄貴分・姉貴分」となる先輩社員が少ない。30代前半の石井には、営業の屋台骨を背負う役割が期待されている。そのため的心構えを持ち、力を着々と蓄える日々を送っている。これまで官公庁と民間企業の営業を経験し、現在は主に前橋市等を担当する。他社との競争に勝たなければ、仕事は受注できない。石井は顧客の発注情報の収集力と設計・施工部門との綿密なコミュニケーションがポイントであると考えている。苦勞して大型案件を受注できたときの喜びは何者にも勝る。

Works

営業の仕事は、情報の収集、社内展開・受注戦略立案、入札参加、契約、施工部門への引き継ぎ、アフターフォローなど多岐にわたる。民間企業では顧客との信頼関係によって契約も可能だが、官公庁では入札による競争が行われる。競争入札では、価格や実績、配置技術者の力量を含めた総合的な技術力も評価の対象となる。受注後も顧客担当者と良好なコミュニケーションを維持し、次の案件情報の収集に努めることも営業の役割だ。

REAL-6 事務



ミスのない
完璧な経理業務を目指し
知識力の向上に力を注ぐ

小田川 紗也 管理本部財務部／2022年入社

Career Step

- 2022年 ● 入社、管理本部財務部経理課 配属
- 2024年 ● 2級建設業経理士 取得
経費精算システムの新規導入に従事

簿記の知識ゼロからのスタート。
集中力と向上心を糧に、キャリアアップを目指す。

「『小田川に聞けば、経理のことはなんでも分かる』と言われるくらい存在になりたい」と語る小田川。入社前は、自らを「営業向き」と分析していた小田川は、経理課に配属され驚きを感じたが、すぐに「挑戦しよう」と切り替えた。経理課は、日常生活で目にする事のない金額を扱う部署。会社資金を管理するため、1円たりとも間違えられない緊張感の中、日々の業務に向き合う。小田川は思っていた以上に一つのことに集中できる自分を発見し、経理業務でのキャリアアップを誓う。3年目になって任された支払業務の経験を活かし、現在1級建設業経理士取得を目指しながら、近い将来決算業務にも携われるよう自分を磨いている。

Works

経理業務は、支払業務をはじめ、入金確認業務、出納業務、決算業務など、会社資金を取り扱う必要不可欠な仕事。今まで支払業務を中心に担当してきたが、経費精算システムの新規導入に際し、先輩社員とともにマニュアルの作成に取り組み完成させた。大きなプロジェクト経験をしたことで、知識も増え自らの成長につながったと実感している。

教育制度

佐田建設はそれぞれが専門領域を持つプロフェッショナル集団です。各部門ごとに専門的な教育制度を整えており、個々の成長をしっかりと支援します。

1年目

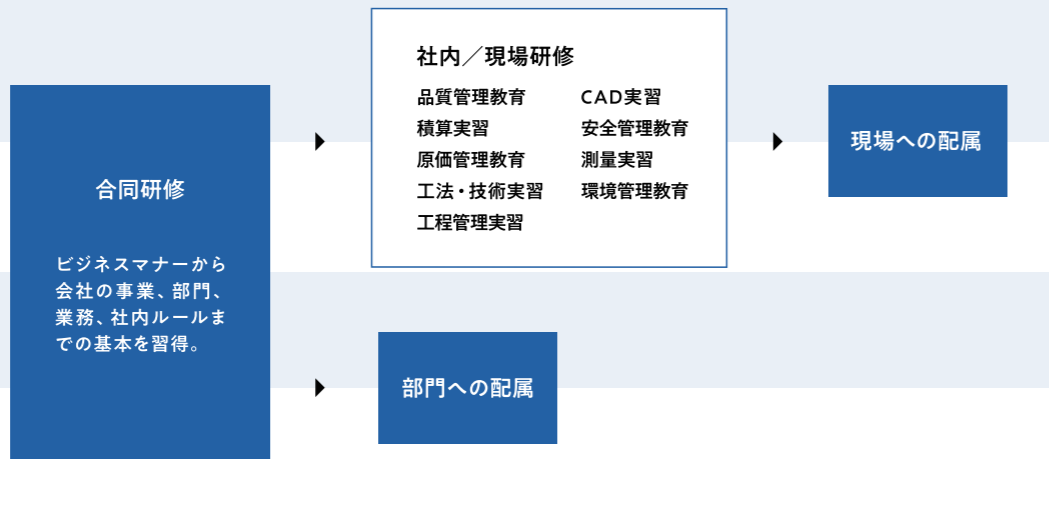
コミュニケーションを大切に、失敗も含めて、あらゆることから学びを得る時期。先輩社員との「報・連・相」を通じて、各部門において、ゼネコンの社員としての基礎を早期に習得。

建築本部
Site management

土木本部
Field management

営業本部
Sales position

管理本部
Office worker



2～5年目

後輩社員が入社し、業務を補助する者から業務を推進する者へと、求められる役割が変化。将来の自分を明確にイメージし、資格取得にも積極的に取り組まなければならない。

- 1級・2級建築施工管理技士
※設計部門は一級・二級建築士
※設備部門は1級・2級管施工管理技士
1級・2級電気工事施工管理技士

- 1級・2級土木施工管理技士

- 宅地建物取引士
- FP3級
- ITパスポート

- 2級建設業経理士
- FP3級
- ITパスポート

10年目

- 建築土木
大規模工事を管理するために必要となる資格・スキル・経歴をすべて修得し、一人前の技術者として独り立ち。現場の所長や次席として、協力業者のまとめ役に。
- 営業
一人前の営業担当として、お客さまからの信頼を勝ち得る。また、新規開拓により、会社の業容を拡大することが求められる。
- 管理
現場の監理業務を統括するとともに、会社全体の収支管理にも責任を持たなければならない。自己研鑽に励み、1級建設業経理士等の上位資格へ挑戦することも必要。

- 1級建築施工管理技士
※設計部門は一級建築士
※設備部門は1級管工事施工管理技士、1級電気工事施工管理技士、建築設備士

- 1級土木施工管理技士
- 技術士

- 2級建設業経理士
- FP2級

- 1級建設業経理士
- FP2級

階層別研修

〈1年目〉4月

- ・コミュニケーション研修
- ・施工ゲーム研修
- ・ビジネスマナー研修

〈1年目〉10月

被考課者研修

〈5年目〉

ブラザーシスター研修

〈10～15年目〉

- ・管理職研修
- ・考課者研修

〈20～25年目〉

目標管理研修

〈取締役・執行役員就任時〉

トップマネジメント研修

BENEFITS

福利厚生

職員が安心して働ける環境を提供するために、充実した福利厚生制度を整えています。



資格取得支援

社内研修制度による受験指導あり
資格取得後は合格祝金や資格手当を支給



確定拠出年金

退職金制度として企業型確定拠出年金を採用。税制優遇や運用益非課税などのメリットがあり、安心して資産形成を行える環境を整備



ベネフィットステーション

グルメ・レジャー等の余暇支援から、eラーニング、健康支援まで様々なジャンルの優待が利用できるサービス



外部カウンセリングサービス

職員の心身の健康のため、外部産業カウンセラーによる相談窓口を設置



独身寮

前橋市・さいたま市に新築の独身寮
各室ワンルームタイプで家具住宅設備も完備

今も、昔も、これからも

君たちのために

大人たちが人生をかけて育んだ未来

そんな熱量を感じて欲しい

「今をよりよく」のもっと前

改善ではなく「生み出す」という仕事をしている

その **REAL** を感じて欲しい

——人よ、街よ、社会よ、もっとココロオドレ



〒371-0846 群馬県前橋市元総社町1-1-7

経営企画部人事・人材開発課 担当：青木・石郷岡・岡崎
TEL：027-290-1603 / FAX：027-290-1666
HP：<https://www.sata.co.jp/> / E-mail：jinji@sata.co.jp

OPEN QR

